

地域からエネルギーの未来を創る緊急シンポジウム

# 自然エネルギー 地域の未来

会場：東京・日比谷  
イイノホール

主催 JST-RISTEX\*

共催 総務省地域力創造G\*\*

2012年 6月6日 PM 1~6

## 後援

文部科学省、農林水産省、  
経済産業省、国土交通省、  
環境省、全国知事会、  
全国市長会、全国町村会、  
全国地方新聞社連合会、  
日本エネルギー学会、  
エネルギー・資源学会、  
自治体学会

- ★ 提言：今後の地域自然エネルギー
- ★ こうすればできる  
持続的自然エネルギー  
利用!
- ★ 地域は主張する

JST RISTEX00

YOKOVISION  
for Collaborative -80% Actions

●日時：平成24年6月6日 ●会場：イイノホール 東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビル4F

\*主催：独立行政法人 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究開発領域

\*\*共催：総務省（地域力創造グループ地域政策課 緑の分権改革推進室）



---

## はじめに

3-11 とそれにつづく未曾有の出来事の中で、多くの人々が、家族を・友を失い、また、広域放射能汚染という新しい事態に直面して苦しんできました。直後の混乱期をようやく脱しつつあるいま、私たちは、被災の有無にかかわらず、従来の思考パターンをのり超えて、これからのエネルギーと環境について、建設的かつ現実的な新しい方向性を確立するという、重要な課題に直面しています。

この間、温暖化・気候変動対策の切り札のひとつである自然エネルギーが、地域の防災やエネルギー自立の面で大きな価値をもつことが広く認識され、その導入・普及に、これまでにないスピードと確実さが求められるようになりました。その導入にあたっては、地域の活力を高めるような仕組みが必要であることへの認識も、以前に比べ、格段に高まっています。

そのような折、現在、「新・エネルギー基本計画」、「新地球温暖化対策」、「新原子力政策大綱」等に向けた選択肢を国民に提示するために、識者による検討が集中的に進められています。今夏には、「国民的議論」を経て計画や戦略が策定され、さらに「革新的エネルギー・環境戦略」が決定される予定です。並行して、再生可能エネルギー固定価格買い取り制度の実施のための議論も進められており、一部には自然エネルギーへの投資をめぐって過熱した状況も現れています。さらに、去る3月末には環境税の創設を含む税制改正法が衆院本会議で成立しており、その具体化の方向も気になります。

さて、そもそも、地域分散的な自然エネルギー資源は、古来、自然の恵みとして、地域の人々によって大切に利用されてきたものです。化石燃料等のふんだんな供給のおかげでその価値が忘れられてしまったのは、わずかにこの50年ほどのことです。いま、地域の人々は、自然エネルギー資源の価値をあらためて自覚し、これからの生活に積極的に生かしていかなければなりません。エネルギーをめぐる議論がかつてない重要な時期に差し掛かっているいま、「自然エネルギーは、地域の人々の主体的な参加の下に、地域の豊かな生活に資する形で利用すべきものである」ということを、地域の人々自身が自覚することが、また周囲の関係者もそれを援助していくことが、きわめて重要になっています。そこからはじめてこそ、自然エネルギー利用の大幅増を、より多くの人々が納得できるやりかたで、早期に実現できるのではないのでしょうか。

私たち科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）（「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究開発領域）と、「緑の分権改革」を進めている総務省（地域力創造グループ地域政策課 緑の分権改革推進室）は、各省のご後援を得て、地域からエネルギーの未来を開拓するという、まさにこの重要な時期にふさわしいシンポジウムを企画いたしました。本シンポジウムが、ご参加の皆さまにとって、有意義なものになることを期待しています。

独立行政法人 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター  
「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究開発領域

---

## 主催者ご挨拶

平成23年3月の東日本大震災以来、私たちは、日本の社会経済をどう持続力のあるものにするかについて、重要な吟味の時期におかれています。この間、国民の多くは科学技術への不安や不信感を強めています。科学技術に大きく依存した現代社会において、科学や技術への信頼を回復するためにも、社会のなかで市民、政治家、科学者・技術者、実務家が問題を共有し、相互の対話と協働を通じて解決策を見出していくことが求められています。

社会技術研究開発センターは、ここ5年、子供の安全、環境・エネルギー、高齢化、防災など、地域が抱える社会的公共的問題に対して、自然科学、工学、人文学、社会科学の研究者と、地域の市民、NPO、企業、実務家などが協働して解決策を見出し、その成果を迅速に”社会実装”することを目標に研究助成を行ってきました。なかでも、平成20年に発足した「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究開発領域は、現在14の研究開発プロジェクトを進めています（3プロジェクト終了済）（シンポジウムではポスター展示で紹介）。当領域では毎年定例のシンポジウムを開催してきましたが、東日本大震災後の、再生可能エネルギー利用への新しい時代を切り拓くきわめて重要な時期であることを考慮し、今回は、地域による地域のためのエネルギー政策実現に向けた「緊急」シンポジウムとして開催するものです。

当シンポジウムを共催していただく総務省（地域力創造グループ地域政策課 緑の分権改革推進室）は、地域の自給力と創富力（富を生み出す力）を高める地域主権型社会の構築を実現するために、平成22年度より全国各地の市町村と「緑の分権改革」推進・調査事業を進めてこられました。この視点は、「現場目線」に立った人的・社会的シナリオ開発と実践、すなわち「社会技術」的視点の重視という点で、私どもの研究開発助成と大変共通するものです。このような、現場目線の精神で考えるとき、このシンポジウムのタイトルのように、全国の各地域が「エネルギーは地域のもの」という気持で積極的に取り組んで行かれることが、新時代を開拓する上で重要と考えます。シンポジウムを共催していただく運びとなりましたことを、大変有難く思っております。

今われわれは重大な局面に立っています。今後の日本の新しい環境・エネルギー戦略について、従来の思考の枠組みを超えた新しい方向を考える場として、本シンポジウムがご参加の皆さまにとって有意義なものとなることを切に期待しております。

最後になりましたが、ご後援を頂きました、各省、団体、学会等へ厚く御礼申し上げます。

独立行政法人 科学技術振興機構  
社会技術研究開発センター長  
有本 建男

# 目次

はじめに .....	i
主催者ご挨拶.....	ii
プログラム .....	iv
<b>I 本シンポジウムの視点</b> .....	1
<b>1 緑の分権改革の推進について</b> .....	2
総務省 地域力創造審議官 門山 泰明	
<b>2 地域に根ざした脱温暖化R&amp;D領域から</b> .....	5
— シンポジウムのねらいと本日の提言案 —	
領域総括 龍谷大学教授 東京農工大学名誉教授 堀尾 正鞆	
<b>II 地域と自然エネルギー</b> .....	11
<b>1 エネルギーの将来ビジョンと地域の重要性</b> .....	12
資源エネルギー庁 村上敬亮	
<b>2 地域が主体のエネルギー将来ビジョンを</b> .....	13
ジャーナリスト・環境カウンセラー 崎田 裕子	
<b>3 地域自然エネルギー条例の必要性とひな形案</b> .....	16
法政大学教授 船橋 晴俊	
<b>III こうすればできる！ 自然エネルギー大幅拡大</b> .....	25
<b>1 小水力への新しい展望</b> .....	26
九州大学教授 島谷 幸宏	
<b>2 地域力風車こそ風力の主流たるべし</b> .....	31
ウインドコネクト株式会社 齊藤 純夫	
<b>3 森林を破壊しない持続的なバイオマス利用を</b> .....	33
NPO法人 土佐の森・救援隊 中嶋 健造	
<b>4 こうすればできるカネ・仕組み・人づくり</b> .....	37
早稲田大学 岡田 久典・東京都 谷口 信雄	
情報提供(各省庁より) .....	43
<b>IV 地域主体で取り組む自然エネルギー利用</b> .....	55
<b>1 北海道ニセコ町</b> 町長 片山 健也 .....	56
<b>2 徳島県上勝町</b> 町長 笠松 和市 .....	58
<b>3 滋賀県湖南市</b> 市長 谷畑 英吾 .....	60
<b>4 長野県飯田市</b> 市長 牧野 光朗 .....	62
<b>5 富山県南砺市</b> 市長 田中 幹夫 .....	64
<b>6 徳島県</b> 知事 飯泉 嘉門 .....	66
<b>提言案</b> .....	69
<b>参考資料</b> .....	71

---

## プログラム

- 13:00-13:05 **開会挨拶** 独立行政法人 科学技術振興機構 (JST)
- 13:05-13:40 **I 本シンポジウムの視点**
- ❶ 緑の分権改革の推進について  
総務省 地域力創造審議官 門山 泰明
- ❷ 地域に根ざした脱温暖化R&D領域から  
— シンポジウムのねらいと本日の提言案 —  
領域総括 龍谷大学教授 東京農工大学名誉教授 堀尾 正靱
- 13:40-14:20 **II 地域と自然エネルギー**
- ❶ エネルギーの将来ビジョンと地域の重要性  
資源エネルギー庁 村上 敬亮
- ❷ 地域が主体のエネルギー将来ビジョンを  
ジャーナリスト・環境カウンセラー 崎田 裕子
- ❸ 地域自然エネルギー条例の必要性和ひな形案  
法政大学教授 船橋 晴俊
- 14:20-15:10 **III こうすればできる！ 自然エネルギー大幅拡大**
- ❶ 小水力への新しい展望  
九州大学教授 島谷 幸宏
- ❷ 地域力風車こそ風力の主流たるべし  
ウインドコネクト株式会社 斉藤 純夫
- ❸ 森林を破壊しない持続的なバイオマス利用を  
NPO法人 土佐の森・救援隊 中嶋 健造
- ❹ こうすればできるカネ・仕組み・人づくり  
早稲田大学 岡田 久典・東京都 谷口 信雄
- 15:10-15:40 休 憩・パネル展示
- 15:40-16:25 **IV 地域主体で取り組む自然エネルギー利用**
- ❶ 北海道ニセコ町 町長 片山 健也
- ❷ 徳島県上勝町 町長 笠松 和市
- ❸ 滋賀県湖南市 市長 谷畑 英吾
- ❹ 長野県飯田市 市長 牧野 光朗
- ❺ 富山県南砺市 市長 田中 幹夫
- ❻ 徳島県 知事 飯泉 嘉門
- 16:25-17:55 **パネル討論** コーディネーター 岡田 久典  
上記スピーカー、堀尾 正靱、崎田 裕子
- 今後に向けての提言** 堀尾 正靱
- 17:55-18:00 **閉会挨拶** 独立行政法人 科学技術振興機構 (JST)